

いさわ



豪快に雪を吹き飛ばしながら進むロータリー除雪車

胆沢区と秋田県東鳴瀬村を結ぶ国道397号の除雪作業が、4月15日に公開されました。5日から始まったこの作業は、冬期間閉鎖する平七沢ゲートから秋田県境の大森山区間の通行止めを解除するためのものです。

除雪の総延長距離は20.1キロ。作業速度は1日に約1キロで、積雪が6センチになる場所では、500メートル進むのがやっとだそうです。作業員たちは、バックホーで崩した雪をブルドーザーで圧縮し、ロータリー除雪車で勢いよく吹き飛ばしていました。除雪したところは路肩のガードレールの取り付けが行われ、安全設備点検が終了した後、5月10日から通行止めが解除されています。

国道397号の通行止め区間を除雪
焼石の山に響く除雪車の音

まちの話題



日高火防祭を目前に控えた4月10日、横町ポケットパークで6町組の先陣を切って横町組の町印記念碑除幕式が行われました。この記念碑は、心字の街創造実行委員会（瀬川口会長）の計画によって、6町組それぞれに与えられた町火消しの心得を表す漢字「仁、心、火、防、定、鎮」をデザインに反映させ作成されたものです。

鋳物製の記念碑は高さ約4.6メートル、重さ約500キロ。「定」の字が記され、上部には連続した水の供給を表す「ひしゃくの水車」が施されています。当日の式典では、小学生による除幕が行われたほか、神事や音曲の披露がなされました。日高火防祭当日までに6町すべての記念碑が設置され、祭の成功を祈願しました。市と同実行委員会では、今後、この記念碑を活用しながら中心市街地の魅力が高まるような取り組みを目指していきます。



関係者が出席し行われた除幕式

まちを彩る町印がお目見え
晴れやかな空の下で町印記念碑を除幕

ころもがわ

青空を泳ぐ鯉のぼりに声援 衣川荘でこいのぼり見学会

サンホテル衣川荘の招待によるこいのぼり見学会が、4月30日に行われました。寒空が続くなか、この日は穏やかな陽気に恵まれ、あゆみ園（菅原昭子園長）と衣里幼稚園（横山剛園長）の園児ら38人が青空を泳ぐこいのぼりに、元気な声援を送っていました。

衣川荘本館と懐徳館の間を元気に泳ぐ55匹のこいのぼりは、4月14日に株式会社協和開発（佐藤信治代表取締役社長）の協力により設置したもので、ことしで3年目を迎えます。衣里幼稚園の三浦悠陽くんは「こいのぼりがいっぱいだった。青いこいのぼりがかっこいい」と空を泳ぐ姿に目を輝かせていました。



こいのぼりと桜をバックにパチリ

笑顔であいさつするまちへ 前高生が啓発ポスターを作製

完成したポスターと笑顔の執行部員



県立前沢高校生徒会執行部（佐藤雄太会長）が作製していた「あいさつ運動啓発ポスター」が4月22日に完成し、前沢地区の各家庭に配布されました。

あいさつを通じて安心・安全なまちにしようと、前沢地区連合振興会（三浦清司会長）が作製を依頼したものです。同執行部員がキャッチフレーズやデザインの考案、写真撮影などを手掛けました。ポスターは、美術部長も務める西谷恭子さんが描いたバスの絵の窓から、前沢保育所の園児たちが顔を出すかわいらしいデザイン。岩崎里美さんは「このポスターであいさつが活発になってほしい」と期待を寄せていました。

まえざわ

えさし

ステージに華麗な舞を披露 えさしてバレエフェスティバル

華麗な舞で観客を魅了した生徒たち



第3回東京小牧バレエ学園江刺教室発表会が4月25日、江刺体育文化会館で開かれ、来場した約800人の観客を魅了しました。

同教室は、江刺区出身の小牧正英さんが創設した東京小牧バレエ団の協力により、NPO法人いわてルネッサンス・アカデミア（高野誠司理事長）が運営。現在、4歳から65歳までの69人の生徒が、週1回のレッスンで汗を流しています。当日は、同バレエ団の菊池宗団長が駆け付け、見守るなか、生徒たちは日ごろの練習の成果を存分に発揮し、華麗な舞を披露。客席から大きな拍手が送られていました。

武者ぶり凛々しく練り歩く 市街地に子供騎馬武者が登場

駒形神社の春の例祭「子供騎馬武者行列」は5月3日、水沢区市街地などで行われました。大人たちによる騎馬行列に続いて、よろいかぶとを身にまとった15人の子供騎馬武者が登場。ひづめの音を響かせながら、駅通りや立町、吉小路などを練り歩きました。

この催しは、平安時代後期に東北地方の戦乱を鎮めた源頼義・義家父子の武勇にあやかり、子どもの健やかな成長を願って行われているものです。この日は、市内で夏日を記録するほどの暑さとなりましたが、沿道には観客が一行を待ち構え、勇ましさとかわいらしさを合わせ持ったその姿に目を細めていました。

りっしく着飾った子供騎馬武者



みずさわ